



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社デルソーレ 上場取引所 東  
コード番号 2876 URL <https://www.del-sole.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大河原 泰  
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 印部 修一（TEL）03(6736)5678  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	14,122	8.1	1,322	147.6	1,337	124.4	888	80.1
2023年3月期第3四半期	13,061	9.4	534	△15.5	596	△42.8	493	△28.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期第3四半期	99.78		—					
2023年3月期第3四半期	54.78		—					

### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,407	6,910	60.6
2023年3月期	11,029	6,081	55.1

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 6,910百万円 2023年3月期 6,081百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	6.6	1,200	187.2	1,200	132.6	750	147.5	84.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	9,105,290株	2023年3月期	9,105,290株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	200,192株	2023年3月期	200,192株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期3Q	8,905,098株	2023年3月期3Q	9,004,007株
------------	------------	------------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（以下「当第3四半期」という。）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の「5類移行」による経済活動の正常化等に伴い、緩やかに回復しつつあります。一方で、原材料・資源価格の高騰、円安進行による物価上昇や不安定な国際情勢の長期化等、依然として予断を許さない状況が続いております。

食品・外食業界におきましては、節約志向が根強い市場環境の下で、原材料価格に加え、人件費、物流費、光熱費等の高騰による収益の圧迫が継続しています。こうした諸コストのさらなる上昇も見込まれている中、経営環境は厳しさを増しております。

このような経営環境の中で、当社は2023年度(2024年3月期)から2026年度(2027年3月期)までの事業運営に関する「中期経営計画2026」を策定し、経営理念である「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供すること」を一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、「“おいしい”で世界をつなぐ」をミッションに、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は14,122百万円（前年同四半期比8.1%増）、営業利益は1,322百万円（同147.6%増）、経常利益は1,337百万円（同124.4%増）、四半期純利益は888百万円（同80.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 食品事業

食品事業におきましては、食品スーパー、生協等の小売市場における価格転嫁により消費者の生活防衛意識は依然として高く、家庭用分野では食料品の買い控えが続いております。一方で、経済活動の正常化に伴う人流や消費活動の回復により、主要販売先である業務用分野は堅調に推移いたしました。

このような状況の中、業務用の主力である外食業界をはじめ、スーパー惣菜・ベーカリー市場の強化、家庭用冷凍ピザの新商品発売等、積極的に家庭用市場の開拓を進めるとともに、コロナ禍により希薄になりがちであった取引先との関係強化、及び展示会への積極的な参加等による新規販路の獲得に努めてまいりました。本年（2024年）11月の創業60周年を記念して、これまで培った技術やノウハウを結集した本格冷凍ピザ「THE PIZZA」2品の発売に続き、北海道八雲町に新設した「八雲ピザ工房」にて、生地・トッピングにこだわったデルソーレ史上最上級の「北海道PIZZA」4品の製造を開始、2023年10月より発売いたしました。また、当社の主力商品であるトルティーヤ、ピタパンを活用した、時短向上と食品ロス削減に資する「#おうちロスプロジェクト」を継続し、レシピ動画サイトやYouTubeを通じても発信しております。

海外ビジネスについては、北欧リトアニアの海外パートナー企業との連携を深めヨーロッパの本格的な冷凍パンの販売を強化するとともに、アメリカ産冷凍チーズの販売も積極的に推進しております。また輸出については海外からの引き合いも増加しており、円安を追い風に取引を加速させ、今後は当事業の重要な柱として育成してまいります。

販売管理面では、売上規模に見合った在庫水準の適正化や、物流効率化の取り組み等を引き続き進めております。

この結果、当第3四半期の売上高は11,838百万円（前年同四半期比7.8%増）、セグメント利益は1,738百万円（同57.3%増）となりました。

#### 外食事業

外食事業におきましては、オフィス立地の集客が回復しつつある一方で、原材料価格の高騰に加え、人手不足による採用コストの増加やパート時給の上昇等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、コロナ禍における変化対応で培った筋肉質なコスト構造を定着させつつ、既存店の更なる質の向上に取り組んでおります。具体的には食材ロス低減の取り組み、人員配置の最適化や在庫管理、家賃の減免等、徹底したコストコントロールを実施するとともに、テイクアウトブランドの強化による収益改善に引き続き注力してまいりました。

また、「おめで鯛焼き本舗」を当社における成長ドライバーとして位置づけ、百貨店や商業施設への催事出店やお土産需要の高い「キャラクター人形焼き」の販売を中心とした「守り」から「攻め」への転換を図るべく取り組んでおります。

この結果、当第3四半期の売上高は2,300百万円（前年同四半期比9.9%増）、セグメント利益は70百万円（前年同四半期はセグメント損失28百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産の部）

当第3四半期会計期間末（以下「当第3四半期末」という。）における総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という。）から377百万円増加し、11,407百万円となりました。流動資産合計は、売掛金が1,248百万円増加した一方、商品及び製品が82百万円、原材料及び貯蔵品が121百万円それぞれ減少したこと等により、782百万円増加し6,788百万円となりました。固定資産合計は、有形固定資産合計が22百万円、投資その他の資産合計が383百万円それぞれ減少したこと等により、404百万円減少し4,619百万円となりました。

### （負債の部）

当第3四半期末における負債合計は、前期末から450百万円減少し、4,496百万円となりました。流動負債合計は、未払法人税等が171百万円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が200百万円、役員退職慰労引当金が405百万円それぞれ減少したこと等により、467百万円減少し3,106百万円となりました。固定負債合計は、資産除去債務が24百万円が増加したこと等により、17百万円増加し1,390百万円となりました。

### （純資産の部）

当第3四半期末における純資産は、前期末から828百万円増加し、6,910百万円となりました。配当金の支払いによる89百万円の減少の一方で、四半期純利益888百万円の計上により、利益剰余金は799百万円増加しました。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年11月14日に公表した前回予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,649,350	1,381,784
売掛金	2,702,163	3,950,350
商品及び製品	973,340	891,258
原材料及び貯蔵品	506,657	385,398
その他	174,035	179,431
流動資産合計	6,005,546	6,788,224
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,480,127	4,402,388
減価償却累計額	△3,209,035	△3,165,159
建物(純額)	1,271,091	1,237,228
機械及び装置	3,502,874	3,579,890
減価償却累計額	△2,146,568	△2,308,464
機械及び装置(純額)	1,356,305	1,271,426
その他	1,440,271	1,521,782
減価償却累計額	△493,923	△479,043
その他(純額)	946,348	1,042,738
有形固定資産合計	3,573,746	3,551,393
無形固定資産	10,106	11,300
投資その他の資産		
その他	1,441,508	1,057,765
貸倒引当金	△1,250	△1,250
投資その他の資産合計	1,440,258	1,056,515
固定資産合計	5,024,111	4,619,209
資産合計	11,029,657	11,407,434
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,088,181	2,031,158
1年内返済予定の長期借入金	260,000	60,000
未払法人税等	42,711	214,014
賞与引当金	141,355	52,998
役員退職慰労引当金	405,048	-
資産除去債務	102,599	16,899
その他	534,456	731,283
流動負債合計	3,574,351	3,106,354
固定負債		
長期借入金	210,000	165,000
退職給付引当金	530,476	547,132
役員退職慰労引当金	220,094	239,178
資産除去債務	375,488	399,854
その他	37,442	39,442
固定負債合計	1,373,502	1,390,607
負債合計	4,947,853	4,496,961

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	922,939	922,939
資本剰余金	1,259,205	1,259,205
利益剰余金	3,965,977	4,765,509
自己株式	△87,436	△87,436
株主資本合計	6,060,685	6,860,217
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,118	50,255
評価・換算差額等合計	21,118	50,255
純資産合計	6,081,804	6,910,472
負債純資産合計	11,029,657	11,407,434

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	13,061,162	14,122,645
売上原価	8,150,106	8,617,117
売上総利益	4,911,056	5,505,527
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	1,259,283	1,228,408
賞与引当金繰入額	34,920	35,341
退職給付費用	32,326	24,708
役員退職慰労引当金繰入額	30,403	24,036
荷造運搬費	1,108,618	1,007,191
その他	1,911,235	1,863,133
販売費及び一般管理費合計	4,376,786	4,182,820
営業利益	534,269	1,322,707
営業外収益		
受取利息	7	11
受取配当金	16,770	10,813
受取手数料	604	615
受取賃貸料	1,807	180
助成金収入	41,754	-
受取保険金	-	8,728
その他	9,650	7,675
営業外収益合計	70,594	28,024
営業外費用		
支払利息	3,022	2,626
支払保証料	5,094	5,094
工場閉鎖損失	-	2,859
その他	664	2,353
営業外費用合計	8,781	12,933
経常利益	596,083	1,337,798
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	11,650	12,710
固定資産売却損	505	-
減損損失	5,706	-
固定資産除却損	-	2,608
特別損失合計	17,862	15,318
税引前四半期純利益	578,221	1,322,479
法人税、住民税及び事業税	130,507	264,568
法人税等調整額	△45,553	169,328
法人税等合計	84,953	433,896
四半期純利益	493,267	888,582



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品事業	外食事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	10,969,531	2,071,836	13,041,367
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	19,795	19,795
顧客との契約から生じる収益	10,969,531	2,091,631	13,061,162
外部顧客への売上高	10,969,531	2,091,631	13,061,162
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,868	—	10,868
計	10,980,400	2,091,631	13,072,031
セグメント利益又は損失(△)	1,105,083	△28,964	1,076,118

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,076,118
全社費用(注)	△498,077
棚卸資産の調整額	180
四半期損益計算書の税引前四半期純利益	578,221

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第3四半期累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	食品事業	外食事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	11,825,939	2,275,240	14,101,180
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	21,464	21,464
顧客との契約から生じる収益	11,825,939	2,296,705	14,122,645
外部顧客への売上高	11,825,939	2,296,705	14,122,645
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,092	3,579	15,671
計	11,838,031	2,300,285	14,138,316
セグメント利益	1,738,680	70,967	1,809,647

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,809,647
全社費用（注）	△487,028
棚卸資産の調整額	△139
四半期損益計算書の税引前四半期純利益	1,322,479

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (重要な後発事象)

2024年1月11日、当社製品在庫の一部を寄託する他社営業倉庫にて火災が発生し、一部の製商品の供給について支障が生じました。出荷ルートの見直し等により、順次出荷を再開しておりますが、現時点におきましては、当該火災による影響額を合理的に見積もることは困難な状況であります。